

二本松青年海外協力隊訓練所

ADATARARA

あだたら



特集1

「地域の活性と
福島復興！」

平成22年度
1次隊 原 真理子さん
(青年海外協力隊) モザンビーク
[福島市出身]

特集2 現地レポート

「世界で活躍する
JICAボランティア」

平成27年度
2次隊 星 明彦さん
(青年海外協力隊) セネガル
[郡山市出身]

VOICE JICA 応援団

二本松市 NPO法人 コーヒータイム 橋本 由利子 理事長

イベント告知

「ふくしまグローバルセミナー2017」開催!



VOICE

ボイス

～JICA二本松応援団～

このコーナーでは日頃よりJICA二本松を応援して下さっている方にJICAボランティアとのエピソードや期待・エールをインタビューします。

今回は、二本松市市民交流センターのカフェ「コーヒータイム」理事長橋本由利子さんです。橋本さんは浪江町出身で、東日本大震災により二本松市へと引っ越して来ました。現在は二本松市で障害を持った方々の就労支援を行っています。またJICA二本松訓練所の訓練期間には、「所外活動」プログラムで候補者の受け入れを行っています。



NPO法人 コーヒータイム 橋本 由利子 理事長

コーヒータイムはどのようなことをしていますか？

主に心に障害を持っている方や一般就労が難しい方が通ってくる事業所です。就労継続支援B型事業という形で実際に働いてもらい工賃をお支払いしています。

利用者の方が働くことに対して自信がついたら、一般就労や障害を持っている方を雇用する事業所もあるのでそちらに就職します。現在スタッフは9名、こちらに登録している利用者さんは23名となっています。

震災後、なぜ二本松市で就労支援を再開しようと考えたのですか？

避難で浪江から二本松に越えてきて「これからどうしてこうか。」と考えた時に、浪江町役場が二本松にあることから、二本松での事業を再開させました。

二本松市でもう一回再開させようと思ったのは、震災でばらばらになってしまったが、やはり「知っている人と一緒にいるのが一番安心する。」と考えたからです。

障害を持っている人というのは、特にそういうことに敏感になります。だからこそ、「避難中は生活が大変だけどせめて日中だけでも一緒にいれたらいいね。」という思いで再開しました。

運営の見通しや先のことなど考えていませんでした。ただ再開すればみんなもだんだんと集まってきて何とかなるようになっていました。

JICA二本松の候補者はこちらでどのようなことをしていますか？

利用者さんが社会とのかかわりを持つために、製品を制作して利益を得ることや社会性、世界との接点ということでJICA二本松の候補者を受け入れています。

候補者の皆さんが派遣される国は、普段テレビや新聞で目にしない国なので、派遣される国のお話を利用者さんにしてもらいます。例えばタイはどこにあって、どんな国なのか、アフリカに派遣される方はそこで何をするのか。みんながなかなか行けない国の話をしてもらっています。

そして社会との付き合い、開かれた社会福祉事業所を目指すためには、やはりJICA二本松の候補者のように外部からボランティアで入ってきてもらうのは必要だと考えています。



委託を受けて「つながりのボールペン」作成している



「つながりのボールペン」はコーヒータイム利用者さんがひとつひとつ手作りで作成している

橋本理事長、インタビューに答えていただきありがとうございました！
候補者にとってもかけがえのない学びの時間となっています！

特集1

地域の活性と 福島復興!



平成22年度1次隊
派遣国:モザンビーク 職種:青少年活動
原 真理子さん(福島市出身)



東日本大震災から6年、復興への道のりを歩む福島県でNPO法人を立ち上げ、国際協力・地域活性化に取り組む青年海外協力隊経験者に話を伺った。

「異文化理解と国際協力」体験

私が国際協力に興味を持ったのは大学生の時でした。

勉強も私生活も、東京での一人暮らしはとても充実していました。ただ充実していた分、「このままでいいのかな?」と不安に感じることもありました。

そんな中、大学で見たポスターが印象的でした。それはフィリピンの児童養護施設でボランティア活動をするNGOのポスターで、迷わず募集説明会に参加しました。

大学1年生の冬、そのNGOのワークキャンプに参加するためフィリピンへと向かいました。

子どもたちが安全に遊べるように学校の敷地を整備したり、フィリピンの子どもたちとジェスチャーを通して会話をしたり、貧困の子どもたちと接する中で「なぜこんなに幸せなんだろう?」と感じるようになりました。

「青年海外協力隊」への挑戦

フィリピンから帰国後、もっといろいろな国や人を見てみたいと考えるようになりました。

夏休みなどの休暇を利用してスタディツアーや大学の先生の紹介などでNGOなどに参加してカンボジアやラオス、インドなど10ヶ国以上を回りました。

帰国後は、国際協力に力を入れている会社も視野に入れて就職活動を行いました。しかし自分にあった会社がなかなか見つからず、そんなときに青年海外協力隊経験者の方に出会いました。

その方とは大学の国際交流センター出会い、自分の進路について話をしたところあっさりと「行ってみたら?」と勧められました!

大学4年生の春、JICAボランティアへ応募し、モザンビークへの派遣が決まりました。



帰国後、ラジオでJICAボランティアの活動について話してくれました。

日本祭りでは生徒がよさこい発表!

こどもたちの未来を切り開く!

私はモザンビークの首都マプトの公立小学校に派遣されました。学校は7学年まであり1学年7~9クラス、1クラス100人くらいの生徒がいました。全校生徒は約7,000人規模の超マンモス校で活動していました。

私が担当していたのは6、7学年の体育や技術家庭です。授業のカリキュラムはあっても、機能していない状態だったので、日本の準備体操やダンスなどを教えました。生徒にとってはどれも新鮮だったようで、とても喜んでいました。

また要請内容にあった日本祭りや運動会などのイベントも企画しました。モザンビークの子どもたちが活躍できる場所を作り、そこで楽しむことや喜んで生まれた感情は将来きっと役に立つと感じました。



子供向け講座の様子

地域と開発途上国を盛り上げる活動

現在はNPO法人を立ち上げ副理事長として「パソコン教室 まなびや」の運営に携わっています。

私は東日本大震災の時、モザンビークでJICAボランティアとして活動していました。当時はすぐに日本に帰ることもできず「震災の時に何もできなかった。」という思いがあります。帰国後、生まれ故郷である福島県で何かしたいという思いが募り、福島市でパソコンによる社会貢献という形でNPO法人を立ち上げました。

「まなびや」では就職のための資格取得やパソコン講座、子供向けのパソコン講座メディアリテラシー等をおこなっています。

子どもからお年寄りまでパソコンやスマートフォンを利用する方が本当に増えています。そういった方々にインターネットの危険性や使い方によってはとても便利なものであるということを指導しています。最近のご年配の方は「孫と連絡を取りたい」、「インターネットで買い物がしたい」など新しいものへの好奇心を持っている方もいます。

「パソコン教室 まなびや」は今年で2年目になりますが、パソコンに関する講座以外にも様々なことを行っています。東日本大震災地域に住んでいる方へのパソコンの技術指導や地域活性化への取り組み、就職支援活動の一つとして女性の就労支援活動に関するセミナーの開催等、様々な企画を立ち上げました。また青年海外協力隊員として海外で活動もしていたので、今後も海外とつながりを持てる活動をしていきたいです。



パソコン教室 まなびや



ユースのインターンシップ受け入れも実施している

特集2

世界で活躍する JICA ボランティア

～セネガルのために、セネガルの子どもたちのために～



先生と教材作り。天秤を身近にある素材を使って作りました。

セネガルの楽器ジャンベ。子どもだってめっちゃめっちゃうまい。ジャンベが鳴ればみんな踊ります。



平成27年度2次隊
派遣国: セネガル
職種: 数学教育
星 明彦さん
(郡山市出身)

Assalaam alaikun

初めまして。セネガルで算数を教えている星明彦です。セネガルはアフリカ大陸の最も西、そしてサハラ砂漠の南側にある日本の半分ほどの大きさの国です。セネガルの首都はダカール。一昔前までパリ・ダカールラリーの終着点だったことから「ダカールは聞いたことある!」という人は多いのではないのでしょうか。

私の任地は、首都ダカールから約150kmのケベメールというセネガル北部の町です。主な活動は小学校を対象に、算数の授業の補佐・授業改善の提案、教員研修会の開催などです。

セネガルでは、子ども達が体験的に学ぶ機会はまだまだ多くありません。ですので、実際に子ども達が具体物を用い、体験的に学べる授業を研修会で提案しています。また、ちょっとした時間に子ども達に、サイコロを使った計算やトランプを使ったゲームなど、数に対する感覚を伸ばせるような遊びを紹介しています。言葉の壁からうまく説明できず困ることもありますが、現地の先生にサポートしてもらいながら楽しく活動しています。

初めは、生活する中で環境や文化、習慣の違いに戸惑うこともありましたが、1年半ほどセネガルで過ごし、「あと少しで日本に帰る」と考えると本当に寂しいです。自分の任期でセネガルに、何か大きなことを残せるわけではないと思います。しかし、セネガルの子ども達にとって、自分と関わったことが少しでもプラスになるように、残りの活動を精一杯がんばりたいと思います。



セネガルの主食は米。
炊き込み御飯のようなものを
大皿でみんなで食べる。

質問コーナー

第5回目

あなたに とって 〇〇とは?

このコーナーでは、派遣中や帰国後の隊員、JICA二本松のスタッフなど、JICAボランティアとして活躍している隊員や帰国後にJICAで得た経験を通して社会で活躍している方たちにさまざまな質問をしてみました!! 第5回目となる今回のテーマは、「あなたが協力隊活動で心残りに思うこと」です。



「もうちょっと準備していけばよかった」です。

帰国当時は「やれることはやった。」と思って帰ってきました。しかし、知識、技術、経験を積み重ねるほど「心残り」は増えるばかり。心残りは成長の証し? 前進するための材料?... ポジティブに考え過ぎかしら! 四半世紀たってもまだ協力隊時代のことを思い返しています。

「派遣前訓練が受けられなかったこと」です。

私は語学訓練免除だったため訓練所に入所していません。このため「訓練同期」の友がなく、任国外へ旅行したくても訪ねる友がいませんでした。2年間の任期を終えて帰国した今も「JICA訓練所」の経験がないことが心残りです。



「なかなか挑戦できなかった」です。

私の職種はサッカーでしたが、派遣国はラグビーが国技のサモア。派遣中は怪我が恐くラグビーはやりませんでした。しかし今思えばラグビー先進国の国で遊びだとしてもプレーできるのは貴重な経験になったはず。職種に囚われず様々なことに挑戦してみるのをお勧めします。





EVENT

イベント

＼大盛況！／ 1日体験入隊 入門編・合格編



訓練所長による熱血講座



タイランチ～経験者の体験談を聞きながら～



進路相談カウンセラーによる個別相談室

3月31日(金)から5月10日(水)までJICAボランティア春募集を行いました。福島県ではJICA二本松訓練所で4月2日(日)に「1日体験入隊～入門編～」、30日(日)に「1日体験入隊～合格編～」を実施しました。

入門編ではJICAボランティアのイメージをつかんでもらうため、映画「クロスロード」を上映。お昼のタイランチでは、平成21年度4次隊で陶磁器隊員としてタイで活動していた金山忍さんが、講師としてタイの食文化や人々の暮らしについて話をしました。午後はJICAボランティア経験者による活動の話や「なんでも悩み相談室」を実施しました。

合格編は「応募することを決めているあなたに」をキャッチコピーに今春JICAボランティアに合格したい方を対象に開催しました。青森や山形、東京など福島県以外からの参加者も多く、JICAボランティアへの強い思いを感じました。

参加者は2017年度1次隊候補者との「交流ランチ」や訓練所スタッフによる語学講座・なんでも悩み相談室などを通してJICAボランティアに応募する意欲を高めました。



「ふくしまグローバルセミナー2017」開催!

9月23日(土)～24日(日)、JICA二本松訓練所で「ふくしまグローバルセミナー2017」を開催します。毎年県内外から多くの方がイベントに参加します。ワークショップ、ディスカッション、国際協力実践報告など様々な講座を用意しています。

世界の現状に興味のある方、国際協力の現場で活躍したい方、教育現場で活用したい方、皆様の参加を心よりお待ちしております!

応募締め切りは9/4(月)!

※これまで実施された内容が確認できます。

[ふくしまグローバルセミナー](#)



昨年度「オープニングセッション」

イベントカレンダー

- 6月11日(日) …… 帰国報告会及び家族連絡会
- 6月14日(水) …… 2017年度1次隊 青年海外協力隊修了式
- 7月7日(金) …… 2017年度2次隊 JICAボランティア入所式
- 7月17日(月) …… ルワンダフルサマー2017
- 8月9日(水) …… 2017年度2次隊 シニア海外ボランティア修了式
- 9月13日(水) …… 2017年度2次隊 青年海外協力隊修了式
- 9月17日(日) …… 結・ゆいフェスタ2017
- 9月23日(土)～24日(日) …… ふくしまグローバルセミナー2017



福島にゆかりのある

JICAボランティア

2017年度1次隊

※①派遣地域 ②職種 ③出身地



青年海外協力隊
むなかた あさみ
宗形麻美さん

①アフリカ地域
②看護師
③石川郡玉川村

日本で経験したことを派遣国で活かせるような活動を目指していきたいです。



青年海外協力隊
さとう ともみ
佐藤友美さん

①アジア地域
②障害児・者支援
③須賀川市

自分が何かを教えるだけではなく、派遣国の方法を教わりながら、現地の方々と活動していきたいです。



青年海外協力隊
こせき ひろみ
小関裕美さん

①中東地域
②美術
③福島市

こどもたちに美術の面白さと表現の楽しさを伝えたいです。



青年海外協力隊
うえの まりえ
上野真理恵さん

①アフリカ地域
②学校保健
③福島市

派遣国で現地の人たちと協力しながら学校保健を浸透させていきたい。帰国後は派遣国と縁のある猪苗代の小学校で復職したいです。



青年海外協力隊
わたなべ きみえ
渡邊希美恵さん

①アフリカ地域
②数学教育
③南会津郡

「たった一度の人生」胸に刺さる言葉。自分はどこまでできるのか挑戦してみたい。学生時代に出会った先生方の海外でのお話が今も頭に残っている。教師の一員となった今、私も日本と世界のかけ橋を築いてみたい。



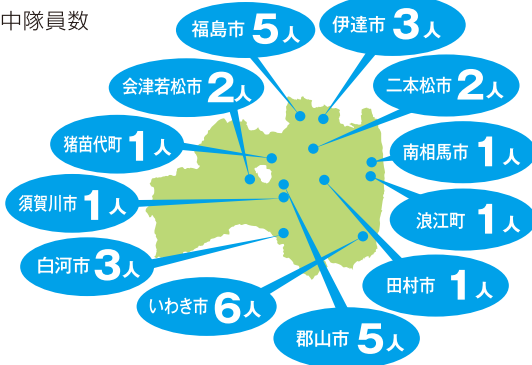
青年海外協力隊
ほつみ しょうた
穂積翔太さん

①北米・中南米地域
②コミュニティ開発
③白河市

ローカルな特産品・商品を地域住民と共にグローバルな視点で発信できるよう、「話し合い」を大切にしていきたいと思います。

福島県出身ボランティア

市町村別 派遣中隊員数



2017年5月31日 現在

合計派遣中:31名 累計:743名

青年海外協力隊				シニア海外ボランティア			
派遣中	28	累計	678	派遣中	2	累計	49

日系社会青年ボランティア				日系社会シニアボランティア			
派遣中	0	累計	10	派遣中	1	累計	6

公式SNSラジオ番組のご案内

JICA二本松 公式Facebook



青年海外協力隊の訓練の様子をのぞいてみよう!!

毎日、更新中!

<https://www.facebook.com/jicantc>

ふくしまFM

キミノチカラ、海を越えて
~青年海外協力隊の道~



世界各国で活躍した隊員をゲストに迎え、参加の動機から任地での活動、帰国後のお話を2週に渡ってたっぷり聞かれます。

毎週土曜 / 8:30~8:55

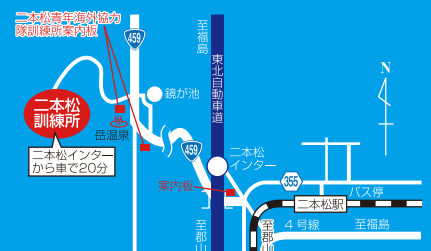
FM Mot.Com

世界も、自分も、変えるラジオ



二本松訓練所の訓練生がつくる番組です。熱い想いが詰まった60分!

第2木曜 / 13:00~14:00
(再放送:第3木曜/13:00~14:00)



独立行政法人国際協力機構
発行元
JICA福島デスク 担当:室井(むろい) Tel:0243-24-3200 Fax:0243-24-3214

●本誌に関するお問い合わせ
〒960-8103 福島市舟場町2-1 (公財)福島県国際交流協会内